

新着情報

No.249 2022年 12月号



スイセン



(D-7-4-44)

DVD 「僕が跳びはねる理由」

KADOKAWA / 82分 / 2022年

重度の自閉症を抱える作家・東田直樹が13歳の時に発表したベストセラーを映画化。自閉症者の内面がその行動に与える影響、自閉症という障がいの意味するものについて、世界各地の5人の自閉症の少年少女の姿やその家族の証言を追い明らかにしていく。誰も見たことのない驚きと感動の“体感”ドキュメンタリー。



(D-2-8-49)

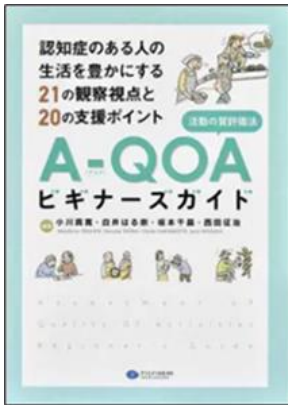
DVD 「ごぼう先生といっしょ! 春・夏・秋・冬 目と耳で楽しむイス体操」

キングレコード / 35分 / 2020年

イスに座りながら簡単に楽しく行える、ごぼう先生によるイス体操。外出が困難になった人でも四季を感じられるように春夏秋冬の風景映像などが楽しめる BGV と共に、それらに合わせたゆったりマイペースな体操を提案する。在宅介護を行っている家族や、グループホームや特別養護老人ホームなどで介護を行っている介護従事者の方を手助けする、見てるだけでも癒やされ心和む作品。



「A-QOA〈活動の質評価法〉ビギナーズガイド 認知症のある人の生活を豊かにする21の観察視点 と20の支援ポイント」



(A2661-594)

小川 真寛 ほか 編著 / クリエイトかもがわ

認知症のある人の「活動の質」を評価するための21項目の観察視点からなる、A-QOA（活動の質評価法）。21の観察視点を1つずつ説明するとともに、活動の質を高める20の支援のコツとA-QOAとの関連を解説する。より充実した活動支援の検討ができ、セラピーやケアの向上も期待できる評価法の入門書。

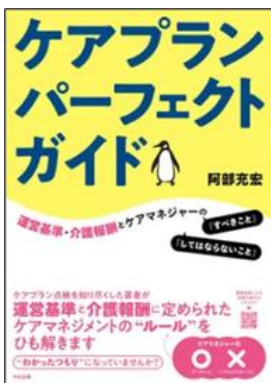
「こどもの吃音症状を悪化させないためにできること 具体的な支援の実践例と解説」



(A2815-20)

堅田 利明 編著 / 海風社

発音からその後2割は吃音をもったまま成長するという現実を前提に「吃音を治す」から「吃音を悪化させない」「吃音をもったまま自由にコミュニケーションをとる」といった転換に向けて奮闘する専門家や教育現場の先生方、保護者の実際の支援の例と詳しい解説の書。



(A2663-498)

「ケアプランパーフェクトガイド 運営基準・介護報酬とケアマネジャーの「すべきこと」「してはならないこと」

- 阿部 充宏／著
- 中央法規出版



(A276-28)

「実践！障がい者ケアマネジメント 相談支援専門員に大切な7つのスキルを磨く」

- 東 美奈子 ほか／著
- 中央法規出版



(A2864-157)

「アサーティブ・コミュニケーション（日経文庫）」

- 戸田 久実／著
- 日経BP日本経済新聞出版



(A26-670)

「ほんとうの定年後「小さな仕事」が日本社会を救う（講談社現代新書）」

- 坂本 貴志／著
- 講談社



(324.65-120)

「ケース別相続で困らないための家族信託 超基本 認知症、資産・事業承継への有効対策、大公開」

- 島本 広幸 ほか／監修
- あさ出版



(A2661-590)

「医者の僕が認知症の母と過ごす23年間のこと」

- 森田 豊／著
- 自由国民社



(492.918-173)

「逝きかた上手 全身がんの医者が始めた「死ぬ準備」」

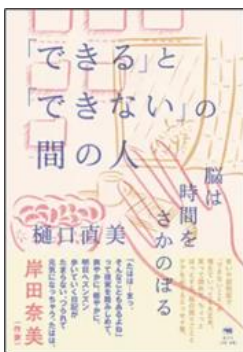
- 石蔵 文信／著
- 幻冬舎



(A2863-38)

「ギャンブル症の回復支援 アディクションへのグループの活用」

- 田辺 等／著
- 日本評論社



(A2661-595)

「できる」と「できない」の間の人 脳は時間をさかのぼる」

- 樋口 直美／著
- 晶文社



(A40-312)

「子どもの想いを地域で支える ヤングケアラー支援ガイドブック」

- 奉優会居宅事業部／編著
- 奉優会



(A274-160)

「リエゾン 9 こどものこころ診療所 (モーニングKC)」

- ヨンチャン ほか／著
- 講談社



(A2864-155)

「仕事も人間関係もうまく放っておく力 もっと「ドライ」でいい、99の理由 (知的生きかた文庫)」

- 栞野 俊明／著
- 三笠書房



(A277-110)

「障害者総合支援法 事業者ハンドブック 指定基準編 [2022年版] 人員・設備・運営基準とその解釈」

- 中央法規編集部／著
- 中央法規出版



(A277-111)

「障害者総合支援法 事業者ハンドブック 報酬編 [2022年版] 報酬告示と留意事項通知」

- 中央法規編集部／著
- 中央法規出版

研修関連おすすめ図書紹介

研修：「どもった話し方(吃音)のこどもたちへの正しい理解と啓発」

◆日時：令和4年12月19日(月)

◆時間：午後2時～5時

研修関連図書



(A2815-18)

「吃音のある子どもと家族の支援
保護者の声に寄り添い、学ぶ
暮らしから社会へつなげるために」

堅田 利明 ほか 編著 / 学苑社 / 2020年

科学的な吃音の基礎知識、陥りがちなNG対応例や、本人の意識の持ち方、周囲への理解・啓発の働きかけ方を、当事者や家族への徹底した「共感」と「傾聴」を軸に、Q&A形式で丁寧に解説。



(A2815-17)

「吃音」の正しい理解と啓発のために
キラキラを胸に」

堅田 利明 編著 / 海風社 / 2018年

吃音のある子ども、吃音を持つ子どもの保護者、教育現場の先生たち、そして、吃音の専門的な知識を持って、吃音の治療にあたる言語聴覚士の先生たち28人による「吃音」理解と啓発への取り組みを記した手記。

大阪市社会福祉研修・情報センター 2F図書・資料閲覧室のご案内

◆開室時間：月曜日～木曜日・土曜日 午前9時30分～午後5時
金曜日 午前9時30分～午後7時

◆休室日：日曜日・祝日(土曜日は除く)・年末年始
※初めて借りる方、カードを忘れた方は現住所が分かるものをご提示ください。(運転免許証・健康保険証など)

◆住所：〒557-0024 大阪市西成区出城 2-5-20

◆電話：06-4392-8233

◆URL：<https://www.wel-osaka.com>

(↑DVDリストのダウンロードや、図書の検索ができます)

